

<導入法人レポート>



福岡県糸島市で初! 炭の家モデルハウス完成!!

10月26・27日の二日間にわたり福岡県糸島市の「グリーンタウン九大新町」分譲地内に㈱へいせい様では初となる「炭の家」モデルハウスが完成し、見学会が開催されました。二日間の来場者は35組。このモデルハウスは「炭の家」であることに加えて、屋上庭園も採用され見どころ満載となっています。屋上からは遠くの山並みも眺めることができ、炭で浄化された空気とあわせて心身ともに快適な生活ができそうですね。㈱へいせい様では今後「炭の家」を標準仕様にされて、こだわりの住宅を建てていきたいとのこと。お客様の健康や空気への注目度も高まってきていますので、受注もますます増えそうです。



追客中のお客様も多数来場。炭の家には若い夫婦も興味があるようです。



炭の効果のプレゼンパネルもたくさん。お客様を炭のファンに。



九州大学伊都キャンパス近くに建つモデルハウス。



屋上で景観を楽しみながらの商談。



炭の施工中写真。きれいな空気の決め手。

<導入法人レポート>



「炭の家」完成見学会! 静岡県伊東市!!



見学会の前には近隣へのポスティング、折込チラシ、新聞紙面広告と告知を徹底。お客様もたくさん来場されました。

10月19・20日に三和建設㈱様は「炭の家」の初めてのお客様宅にて完成見学会を開催されました。三和建設様は今年3月に「炭の家」を導入され、3月末にはショールームで110組の集客に成功されています。およそ半年を経過して「炭の家」が完成したことは三和建設様の積極的な取組みの成果ですね。悪天候にもかかわらず39組のご来場があったそうです。住んでからますます効果が実感できる炭の家ですから、お客様の口コミも強力な営業ツールになります。静岡県にも炭の家が増えていくのは間違いないですね。



お客様も営業マンの説明に納得です。



炭グッズをきれいにレイアウトされています。お客様も炭の効果をよくご存知です。



きれいな空気が人にはとても大切なものです。プレゼンパネルも完璧です。

炭の家について詳しくはウェブサイトまたは右に記載の直通ダイアルよりお気軽にお問い合わせください!

TEL (011) 756-4824
FAX (011) 756-4825

2013.11

5分で読める! 健康住宅で圧倒的な差別化を実現する経営者のための情報誌



SUMI-炭-
TIME



VOL.
26
2013

スミタイム

<炭タイム26号>

«NEWS» PM2.5の発がん性

«TOPIC» プrezentパネル活用作法

«導入店レポート» 福岡県(株)へいせい様
静岡県三和建設(株)様

最新の情報はウェブで!!

「炭の家」法人様向けのウェブサイトは

sumi1t

検索



ホームページアドレス: <http://www.sumi1t.com/>

株式会社
ホーム企画センター

001-0038 札幌市北区北38条西2丁目1番26号 創業/昭和43年 資本金/1億9000万円

いいよ
いい空気
お電話でのお問い合わせや
お申込の方はこちらへ!
フロンティア事業部

0120-114-119

PM2.5に発がん性と認定。解決策は「炭の家」

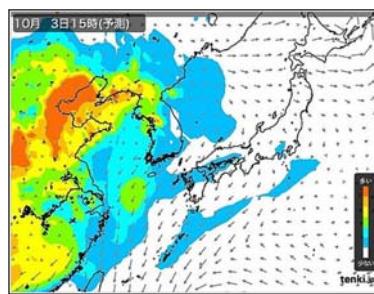
10月に入ってから隣国である中国のPM2.5による深刻な大気汚染についての報道が相次いでいます。日経新聞に下記の記事がありましたので引用します。



<北京、大気汚染「最悪に」欠航や高速道路閉鎖>

日本経済新聞電子版 10月6日17時33分配信

【北京=共同】中国北京市周辺は6日も深刻な大気汚染に見舞われ、視界不良のため北京国際空港の発着便に欠航が出たり、北京と各地を結ぶ高速道路が通行止めにされたりした。北京市の大気汚染レベルは6段階で最悪の「深刻な汚染」(指数301以上)を記録。当局は住民に外出を控えるよう呼びかけた。



中国の大気汚染は日本にも大きな影響があります。PM2.5は非常に小さな粒子状物質なので風に乗って日本にも飛来するからです。tenki.jpによると、PM2.5が風に乗って九州から大阪付近まで飛来しているのがよくわかります。左図はtenki.jpのサイトからPM2.5分布予測でいつでも見ることができます。(http://tenki.jp/を参照)

また、17日にはPM2.5が発がん性を有すると認定されました。

<PM2.5など高い発がん性と認定…WHO機関>

読売新聞オンライン 10月18日14時10分配信

【ジュネーブ=石黒譲】世界保健機関(WHO)下で化学物質などの発がん性を評価する専門組織、国際がん研究機関(IARC)は17日、大気汚染について、中国などで深刻化していることを念頭に肺がんなどの発がん性を有すると初めて認定し、5段階のリスク評価で最も危険が高い「グループ1」に分類したと発表した。

日本への飛来も問題となっている微小粒子状物質(PM2.5)を含む粒子状物質についても別途、グループ1に分類した。アスベスト、喫煙、コールタールなどと同等のリスクに当たる。

空気が汚染されているところで過ごすことは健康被害の大きな要因となることは明らかでしょう。高濃度で空気が汚染されると、場合によっては生命に係わることもあるのです。



<北京PM2.5改善見えず東京に学べと担当派遣>

読売新聞オンライン 10月19日8時29分配信

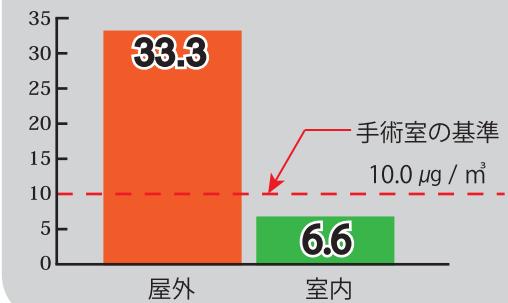
【北京=竹内誠一郎】環境保護省傘下の出版社が昨年末に発表したPM2.5による健康被害に関する報告は、2010年にPM2.5が原因となった死者数は、北京、上海、広州で計7000人に上ると推定。中国紙「21世紀経済報道」によると、同時に大気汚染が原因で寿命を縮めたのは123万人に上るとの報告もあり、この傾向は現在も続いているとみられる。

この非常に危険なPM2.5の対策手段はそう多くはありません。なぜなら、24時間換気が義務付けられている住宅には常に外から空気が入ってきますので、不要不急の外出を控えたとしても室内が決して安全な場所とはいえないからなのです。

「炭の家」はPM2.5の除去効果が実証されています。例えば、福岡市のモデル住宅で測定した結果、外気のPM2.5濃度が33.3 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)だったのに対し、室内ではわずかに6.6 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)でした。これは手術室のレベルを下回り、「炭の家」は非常にクリーンな空気環境であることが確かめられています。

ご家族の健康を守るには空気から…。「炭の家」ではそれが可能です。

<福岡市PM2.5測定結果>



PM2.5測定風景



PM2.5販促用DVD

プレゼンパネルの活用作法

住宅展示場や見学会等でプレゼンパネルはよく使われます。お客様に自社の特徴を伝える、来場者の興味がどこにあるのか探る・・・など、様々に活用されていると思います。「炭の家」では特徴を伝えるために次の3枚のパネルを使います。



イーゼルに設置した例

炭ギャラリー

- ① 認知：空気の大切さ～ヒトは生涯で体に取り入れるもので最も多いものは空気。
 - ② 知識：外の空気は危険～PM2.5など外気はもはや安全ではありません。
 - ③ 提案：炭で解決～外気を炭のチカラできれいにして取り入れる仕組みを説明。
- この時、大切なことがあります。プレゼンパネルをお客様の目線に合わせることです。そのためには、パネルを絵画などを固定するイーゼルを使ったり、テーブルの上に炭グッズと合わせて設置して「炭ギャラリー」としたりする方法があります。プレゼンパネルを有效地に利用したいものですね。



① 57%が室内空気



② 正しい換気対策のススメ



③ 炭の家の仕組み

プレゼンパネルのご用命は当社までお問合せ下さい!!

